

Q24 全校集会等における配慮

〈このような状態は自閉症の特性からきています。〉

学校生活にも慣れ元気に登校しているA君ですが、全校朝会や児童集会等の参加を嫌がる様子が見られます。校庭や体育館で行われる全校集会は、教室に比べ広い場所で行われることや多くの人がいるために不安を感じるようです。また、マイクの反響音に強く反応し、パニック状態になることもあります。

このように、大きな声を出しその場から逃避しようとする行動や、手や服を咬む自傷行動は、自閉症の子どもの強い緊張や不安から起こることが考えられます。不安の原因としては経験不足も考えられますが、いつもと違う場所や状態に慣れにくいこと、先の見通しがもちにくいこと、大きな音に対する過敏性の問題等も考えられます。コミュニケーションが苦手な子どもたちですから、大勢の人の中にいることの緊張や不安を行動として表していると考えられます。「本当はここにいたくないんだ。早く教室に戻りたい」のメッセージが込められているのかもしれませんが。また暑さや寒さが不安の原因となることもあります。長く立っているのが困難な子どももいます。

〈このような場合の支援 1〉

小学校3年生で知的障害を伴う自閉症の女兒。体育館での児童集会の時、列から離れてバレリーナのようにくるくると回り始めます。また、床に腰を下ろしてから腕で膝を抱え体を揺すったりしますが、このような行動は常同行動といって、「嫌なことや不安なことから逃避する」「何をしたいかわからない」などの表現であることも考えられます。このような場合、支援の方法としては以下のようなことが考えられます。

- ① 並ぶ位置は、「床のラインの上」や「〇ちゃんの後ろ」など具体的な目印となる場所にする。
- ② 周りの子どもの動きが気になり、情緒が不安定になるために行うことがあるので、近くの子どもの席から少し離れて座る。可能なら教師と一緒に座る。
- ③ くるくる回ったり体を揺すったりする行動は、周囲の音声などの刺激がストレスとなって起こることもあるので、静かになってから会場に入るなどの対応も考える。
- ④ 落ち着いて座れるようになったら褒める。
- ⑤ 集会の内容を理解できないことも考えられるので、教師がとなりで解説していく方法もある。

〈このような場合の支援 2〉

小学校1年生の高機能自閉症の男児。校庭で行われた「1年生を迎える会」では、先の見通しを持ってないこともあって、途中で行事への参加を我慢できなくなり、校庭に座りこんで土いじりを始めてしまいました。このような場合、支援の方法としては以下のようなことが考えられます。

- ⑥ 事前に見通しをもって参加できるように、集会のプログラム内容を分かりやすく伝えておく。
- ⑦ 広い場所で行われる集会は緊張しやすいので、できるだけ教師がそばにいて、「次は〇〇よ」と言葉をかけて支援する。また可能なら本人に集会のプログラムを持たせて、今は何を行っているのか視覚的にわかるようにする。
- ⑧ 長く立っていることが難しい場合は、いすに座って行事に参加できるスタイルを全職員で検討することも必要。

学級担任の記録(メモ)

<項目の利用回数>



月／日	対象児の問題	教師やクラスの子どもの対応	対応後の対象児の様子